



## ミミズの飼育と野菜栽培 ミミズコンポスの活動 三島市立沢地幼稚園（静岡県三島市）

ミミズによってゴミを減らすユニークな資源循環型の仕組み「キャノワーム(ミミズコンポスト)」を取り入れている。市の老人ホームから、ドイツ生まれのこのミミズを譲渡され、「カルロ」と名付けて園児がミミズを飼育し始めてから、今年で6年目となっている。毎年5歳児中心に飼育をしている。  
 保育者は、事前に飼育やミミズの特性など情報をもち、指導を進めている。

(1) 出会う	ミミズのカルロの話聞く。(5/1)
(2) 興味・関心が生まれる (カルロも幼稚園のミミズも仲間だ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミミズへの関心は高まる。</li> <li>・特に生き物への興味関心が高い幼児が、畑でミミズを見つけ「カルロだから(キャノワームの中に入れて)」と保育者に言う。(5/10)</li> </ul>
(3) 自分なりのイメージが生まれる 「カルロも幼稚園にいるミミズも仲間だから一緒に入れて」	<b>保育者：カルロはドイツ生まれのミミズで日本のミミズとは違うからいっしょにはできないんだよ</b>
(4) 疑問を持つ 「どうして仲間じゃないの？」	ミミズのカルロと見つけたミミズをよく見る(5/10) <b>保育者：キャノワームの中のカルロ(ミミズ)が見えるようにする。</b>
(5) 比較する(違いに気づく) 「太さが違うよね」 「色も違うよ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツのミミズがカルロで、捕まえたのは日本のミミズであることを知り(疑問をもち)見比べる。</li> <li>・「捕まえたミミズは茶色だし太くて長い」「この中のミミズは赤いね。細いね」と気付いたことを言う。</li> <li>・見比べることで、似てるけど違うことに気付く。</li> <li>・違うミミズだから一緒に入れては行けないと分かり、みんなに話す。</li> </ul>
(6) 納得する (見比べたことで) 友達に伝える	
カルロの世話をする(5/17) <ul style="list-style-type: none"> <li>・餌にする茶殻を入れる。<b>保育者：湿った新聞紙をちぎって入れることを知らせる。</b></li> <li>・どうして新聞紙を入れるのか疑問に思い先生に尋ねる。</li> </ul> <b>保育者：ミミズは乾いたところが嫌いであることや新聞紙は匂いをとるということを知らせる。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新聞紙ってすごいね。いっぱい入れてあげよう」「くさいのがあったら新聞紙をおけばいいんだ」</li> <li>・「お茶っぱが固まってるから、広げてあげよう」といい、指で広げる。</li> <li>・「カルロはいつ食べるのかな?」「僕らが見てないときに食べるよきっと」と話す。</li> </ul> 食べたかな?臭いかな?(5/18) <ul style="list-style-type: none"> <li>・翌朝キャノワームを確かめる。「臭くない」「お茶っぱが減ってる」「新聞紙が少なくなってる」「食べちゃったんだ」「夜食べたんだ」「やっぱり見てないときに食べたんだ」と話し、疑問が解決する。</li> </ul>	
(7) 疑問 「他にどんな物を食べるのかな?」 「いつ食べているのかな?」	夏休みに入るので、カルロのことも考える(7/21) <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな野菜が採れたのは、カルロのおかげだと話し合う。(畑にカルロの作ってくれた栄養をあげたから、満足する収穫ができた)</li> <li>・カルロにも採れた野菜を餌にしてあげることにする。「キュウリ好きかな」「トマト食べるかな」などいろいろ思いをめぐらせながら、餌をあげる。</li> </ul>
(8) 試行 (考えさせる、予想を立てさせる)	夏休みが終わり、カルロを見る。世話をする。(9/1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気なことが分かる。食べたものや食べないものがあることも分かる。</li> </ul> <b>保育者：カルロが好きなものは何かな。みんなが好きなおやつとかも好きかな。クラスのみんなが考えたカルロの餌を持ってきて、食べさせてみよう</b>
(9) 比較する 「柔らかいもの、甘いものが好き」 「酸っぱいものが嫌いみたい」	子どもたちがカルロに食べさせたいと思ったものを、家からもってきて餌にする。(9/4) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニンジン、キャベツ、ブドウの皮、せんべい、クッキー、チョコレートなど思い思いにもってきたものを餌にする。</li> <li>・餌の様子を見る。(9/11)</li> <li>・残っている様子で比較する。考える。</li> <li>・「甘いものが好き」「やわらかい物」「皮が嫌い」「ニンジンは嫌い」「すっぱいものは嫌い」など話し合う。甘いものが好きだと分かる。</li> </ul>
(10) 納得する	

**みどころ**  
 子どもたちにとって、ミミズの「カルロ」が特別な存在になり、親しみをもって観察し、かかわっていることが分かります。話をしないミミズの「好き嫌い」を感じとるということは、大切な経験です。また、生き物同士のつながりを感じる体験になり、自分たちのために役立ってくれていることに「感謝の思い」をもち、思いやりの心も育てられていると思われまます。